

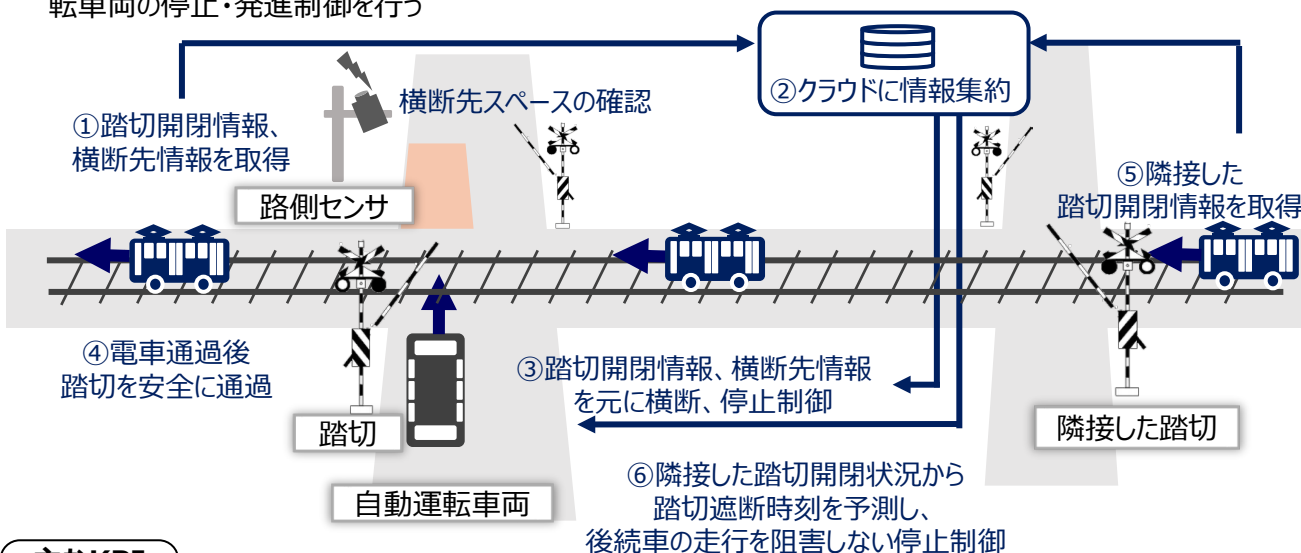
実施体制 (下線：代表機関)	NTT西日本(株)、(株)マクニカ、(株)京三製作所、近鉄グループホールディングス(株)、(株)近鉄・都ホテルズ、志摩市	実証地域	三重県志摩市
実証概要	志摩市では、持続可能な地域公共交通の実現及び観光客が市内を円滑に巡ることができる交通環境整備を目指し、レベル4自動運転運行を検討するに際して、自動運転による 踏切横断時の安全確保 が課題の一つとなっている。 本実証では、通信システムおよび路側インフラ設備および鉄道事業者と連携し、①横断/隣接踏切の遮断情報、②横断先スペース有無のリアルタイム情報を自動運転車両に伝達することで、 外的要因(天候や夜間の視界不良等)に左右されない、信頼性および汎用性の高い自動運転車両の安全な踏切横断システム を構築し、その有効性について検証を実施する。		

1. 踏切開閉情報および横断先情報を用いた踏切通過における自動運転車両制御の検証(ユースケース④)

- 踏切から直接連携された開閉情報と横断先スペースのリアルタイム情報を取得し、踏切横断時における自動運転車両の停止・発進制御を行う

2. 隣接踏切情報を活用した円滑な踏切通過の検証(ユースケース④)

- 隣接した踏切の遮断情報から、横断する踏切の遮断予測を行った上で自動運転車両の停止・発進制御を行う



主なKPI

- 踏切非遮断時(踏切遮断終了後含む)において、踏切前で一時停止後、自動的に再発進すること(100%)
- 継続的な横断先スペース無しに伴う踏切内での滞留が発生しないこと(0%)
- 踏切遮断時において、自動運転車両が一時停止したまま踏切横断を開始しないこと(100%)
- 自動運転車両までの通信遅延：1,000msec未満

走行ルート

- 志摩観光ホテルザクラシック～賢島駅～観光駐車場の片道約1.6kmの区間
- 途中で近鉄志摩線の踏切を横断する



使用車両

- Navya Mobility社製 Evo3
(乗車定員：12名/実証時定員：9名)

